

平成29年 3月 8日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第一部会第4回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成28年度第一部会第4回定例会議は、平成29年2月22日(水)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第一部会第4回定例会議では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区本町3-3-1

主任監査官
入札契約監査官
契約管理官
技術開発調整官

TEL (022) 225-2171 (代表)

おの 寺 小野 壽 (内線2114)
いわ 村 岩 毅 (内線2220)
くろ 沢 黒 勇 (内線2222)
はら だ よし のぶ 原 田 吉 信 (内線3120)

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成29年2月22日（水） 東北地方整備局 災害対策室		
委員	部会長 伊東 満彦【弁護士】 部会長代理 久田 真【(国)東北大学大学院 工学研究科 教授】 委員 牛尾 陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】 委員 泉田 成美【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】		
審議対象期間	平成28年10月 1日 ～ 平成28年12月31日		
審議案件	総件数 9件 （別紙－1 審議案件一覧のとおり）		
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	2件	(備考) (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	2件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	1件	
	随意契約	1件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙－3のとおり		

審議案件一覧

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)	国道106号 茂市トンネル工事	一般土木工事	17	8	H28.11.25	前田建設工業(株)	7,048,620	90.2	三陸国道
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)	東北中央自動車道 桑折高架橋東向田地区上部工事	鋼橋上部工事	19	18	H28.12.27	宮地・MMB特定建設工事共同企業体	1,967,760	92.1	福島

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	成瀬ダム転流工前処理工事	一般土木工事	1	1	H28.12.2	伊藤建設工業(株)	105,840	99.9	成瀬ダム
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	外尾地区跨道橋工事	プレストレスト・コンクリート工事	1	1	H28.11.15	ドービー建設工業(株)	332,640	99.9	仙台

入札方式	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
工事希望型以外の指名競争入札方式	村山地方合同庁舎(16)建築改修外1件工事	建築工事	29	1	H28.10.31	幸栄建設(株)	34,020	99.6	営繕部

入札方式	工事名	工事種別			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	二ツ井白神IC法面緊急対策工事	一般土木工事			H28.11.28	大森建設(株)	40,392	99.5	能代

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型競争入札方式	磐城管内防災点検・設計業務	土木関係建設コンサルタント	5	5	H28.10.24	大日本コンサルタント(株)	36,828	95.0	磐城国道

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	最上川下流洪水予測システム改良業務	土木関係建設コンサルタント	1	1	H28.10.6	いであ(株)	14,040	99.1	酒田

【役務の提供等及び物品の製造等】

一般競争入札方式

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	道路情報板中央制御装置製造据付	物品の製造等	1	1	H28.10.6	日本無線(株)	147,960	99.8	企画部

別紙－２

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
<p>指名停止等の運用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A者が5ヶ月間の指名停止となっている。このA者は過去にも同様の談合事件で有罪となっていたはずだが、過去の事案も反映して5ヶ月となっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事案は、短期が2ヶ月、加算措置として、地方整備局発注工事ということで2ヶ月、複数の法令違反で逮捕起訴されていることで1ヶ月、あわせて5ヶ月の指名停止期間となった。 ・ なお、贈賄などについては、過去3年以内に同様の指名停止があった場合は加算措置をとっている。

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 国道106号 茂市トンネル工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、段階的選抜方式の適用工事とあるが、どのような工事に適用されるのか。 ・ 次の案件の橋梁工事では18者が参加していて、本案件は17者となっているが、数ではない部分もあるのではないか。 ・ このような方式について、今後も引き続きやっていただければ良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段階的選抜方式は、20者程度集まるような競争性の高い工事に適用している。 ・ 今回のトンネル工事の案件については、競争性が高いとの予測のもとに適用した。橋梁工事については、JR近接工事であり調整などが困難であることに配慮した。
2 東北中央自動車道 桑折高架橋東向田地区上部工工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加者は18者あり、競争性が確保されている案件だと思う。 	
3 成瀬ダム転流工前処理工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ この工事については技術提案を求めなかったのか。 ・ 何故ダム形式が変更となったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工能力評価型（Ⅱ型）で発注しているため、技術提案は求めている。 ・ 新たな技術である台形CSGダムを採用することにより、合理化施工が図られるとともに、自然環境への影響低減が可能となることから、ロックファイルダ

	ムからダム形式を変更したものである。
4 外尾地区跨道橋工事	
・3の案件と同様、本工事については技術提案を求めなかったのか。	・前の案件と同様、施工能力評価型（Ⅱ型）で発注しているため、技術提案は求めている。
5 村山地方合同庁舎（16）建築改修外1件工事	
質問なし	
6 ニツ井白神 IC 法面緊急対策工事	
質問なし	
7 磐城管内防災点検・設計業務	
<p>・入札の結果、1者以外は4者が調査基準価格を下回り無効となっているが、建設工事と業務では調査基準価格の求め方は違うのか。 また、調査基準価格の算出方法というのは、業者で分かるものなのか。</p> <p>・無効となった4者の入札価格はいくらぐらいだったのか。</p> <p>・本点検業務は5年毎に行っているとのことだが、東日本大震災があった年にも行ったのか。</p>	<p>・工事と業務での算出方式は異なっている。 調査基準価格の算出については、各項目に対する比率となっており公表しているの、自社で算出した予定価格に率をかけると目安として分かると思われる。</p> <p>・調査基準価格から少々下回る者が3者、それからさらに下回った者が1者となっている。</p> <p>・東日本大震災があった平成23年にも点検を実施している。</p>
8 最上川下流洪水予報システム改良業務	
<p>・本業務は毎年同じ者が受注しているが、このシステムを導入した業者か。この業者でなければシステム改良が出来ないのか。</p> <p>・毎年あるいは隔年で改良しなければならないようなシステムなのか。 また、本案件は最上川の洪水予報であるが、東北地方整備局管内で、このように頻繁にシステムの変更が必要な河川はあるのか。</p>	<p>・開発したのは同者だが、一般的なプログラムによるシステムなので、他者でも改良は可能である。</p> <p>・洪水予測においては、降雨のほか、河川の状況や堤防の整備状況など様々な要因に左右される。 必ずしもシステムを構築した年から毎年改良を行うということではないが、必要に応じて降雨データや河川の形状など見直すべきところはデータを入替たり、降雨のパターンを追加検討するなどの蓄積を行い、精度を高めるものである。 また、他の河川においても、必要に応じてデータを追加するなどの改良を行っている。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じての判断基準は。 ・システムについては技術的には他者でも改良可能であるが、実際にはシステム開発業者が圧倒的に有利となり 1 者応札となっている。このようなシステム改良業務が将来発生するような場合、改良業務の部分も含めて入札することは出来ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元々のデータの精度が低かったり、限られた期間のデータで予測システムを検討せざるを得なかったような場合、あるいは予測結果を他のシステムを介して、住民側に伝える必要がある場合などを含めて判断している。 ・将来の改良業務まで含めて契約をする事は基本的には行っていないが、複数年度の契約も可能であるので、今後検討していきたい。
--	---

9 道路情報板中央制御装置製造据付

<ul style="list-style-type: none"> ・この装置の製造について、他の地方整備局はどうなっているのか。日本全国統一となっていないのか。 ・この業務の範囲は。また、路上規制情報提供装置とは何か。 ・予定価格と落札金額がほぼ一緒であることについて、見積もりを活用したとあるが、何者から見積もりを取ったのか。 ・5 者から見積もりを取ったとはいえ、予定価格の 99.8% で落札しており、業者の方で予測して出せる金額なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路情報板は各地方整備局により様々あり、仕様は統一されていない状況にある。 ・本業務の内容は、本局に置いている道路情報板中央制御装置と路上規制情報提供装置の更新を行うもの。路上規制情報提供装置とは、事故や工事等で道路規制を行う場合、どこで規制を行っているかを HP やカーナビで一般の方に情報提供するものである。 ・5 者から見積もりを徴収した。 ・5 者から徴収した見積金額には大幅な差はなかったため、結果として落札率が高まったものと思われる。
--	---

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

- ・建設コンサルタント業務について、競争性が高く、調査基準価格を下回る入札が増えてきていると思われるので、適正な範囲内での見直しについて検討いただきたい。
- ・システム業務の発注について、その後の見直しが生じる場合が多いので、単年度発注ではなく複数年契約を積極的に採用することも検討いただきたい。
- ・適切なインフラの保守の観点から、維持修繕工事だけでなく点検診断業務も含めて、長寿命化に資する新技術等の導入を積極的に図る発注のあり方を、引き続き検討していただきたい。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を行っていただくようお願いする。

【当局からのコメント】

本日の議事の中で頂きました委員の皆様方からのご意見要望について、今後の入札・契約業務に反映させていただく。

また、さらなる透明性、競争性の確保に努めて参りたい。